

生物圈資源科学専攻

English Course – Global 30 Project, Arid Land Resources Science(3years)

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|--|------|-----|--------|------|-----|----|------|--|---|
| 02AM501 | Special Seminar on Arid Land Resources Science | 1 | 1.0 | 1 - 3 | | | | | This course is design for the students in Arid Land Resources Science Course, educating them on utilization of arid land resources, dealing with emerging problems such as global warming and sustainable economical policies. Professors and researchers are invited from different universities and research institutes for special lectures related to arid land studies. | Compulsory 2021/05/17開講中止決定 英語で授業。 2023年度開講せず。 |
| 02AM502 | Arid Land Field Study | 3 | 1.0 | 1 - 3 | | | | | In this course, field study tours are arranged for practical exposure of the students to arid and semi arid land conditions. The students are provided with field study and research training on biological, environmental and rural development in arid and semi arid regions of the world. Students are also encouraged for participation in conferences, seminars or symposiums related to utilization of biological resources in arid lands. | Compulsory 2021/05/17開講中止決定 英語で授業。 2023年度開講せず。 |
| 02AM503 | Dissertation I | 2 | 1.0 | 1 | | | | | The students will consult with their own academic advisors before enrollment, to decide on which field of study they will conduct their research. They will be involved in different laboratory related activities such as seminars, experiments etc. during the first year of the program. | Compulsory 2021/05/17開講中止決定 英語で授業。 2023年度開講せず。 |
| 02AM504 | Dissertation II | 2 | 1.0 | 2 | | | | | The students will consult with their own academic advisors before enrollment, to decide on which field of study they will conduct their research. They will be involved in different laboratory related activities such as seminars, experiments etc. during second year of the program. | Compulsory 2021/05/17開講中止決定 英語で授業。 2023年度開講せず。 |
| 02AM505 | Dissertation III | 2 | 1.0 | 3 | | | | | The students will consult with their own academic advisors before enrollment, to decide on which field of study they will conduct their research. They will be involved in different laboratory related activities such as seminars, experiments etc. during the third year of the program. | Compulsory 2021/05/17開講中止決定 英語で授業。 2023年度開講せず。 |

生物資源生産学領域

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|------------|------|-----|--------|------|-----|-----|--------------------------------------|--|---------------------------------|
| 02AM001 | 植物育種学講究I | 2 | 1.0 | 1 | | | | | 植物育種学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 | 2021/05/17開講中止決定 2023年度開講せず。 |
| 02AM002 | 植物育種学講究II | 2 | 1.0 | 2 | | | | | 植物育種学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 | 2021/05/17開講中止決定 2023年度開講せず。 |
| 02AM003 | 植物育種学講究III | 2 | 1.0 | 3 | | | | | 植物育種学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 | 2023年度開講せず。 |
| 02AM004 | 作物生産学講究I | 2 | 1.0 | 1 | | | | | 作物生産学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 | 2021/05/17開講中止決定 2023年度開講せず。 |
| 02AM005 | 作物生産学講究II | 2 | 1.0 | 2 | | | | | 作物生産学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 | 2021/05/17開講中止決定 2023年度開講せず。 |
| 02AM006 | 作物生産学講究III | 2 | 1.0 | 3 | | | | | 作物生産学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 | 2021/05/17開講中止決定 2023年度開講せず。 |
| 02AM007 | 蔬菜・花卉学講究I | 2 | 1.0 | 1 | | | | | 蔬菜・花卉学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 | 2021/05/17開講中止決定 2023年度開講せず。 |
| 02AM008 | 蔬菜・花卉学講究II | 2 | 1.0 | 2 | 通年 | 随時 | 研究室 | 江面 浩, 福田 直也, 松倉 千昭, 有泉 亨, 康承源, 野中 聰子 | 蔬菜・花卉学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 | |

| | | | | | | | | | |
|---------|----------------|---|-----|---|--|--|--|--|--|
| 02AM052 | エピジェネティクス講究I | 2 | 1.0 | 1 | | | | エピジェネティクス分野における実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 | 授業は研究室で行う。 2021/05/17開講中止決定 英語で授業。 2023年度開講せず。 |
| 02AM053 | エピジェネティクス講究II | 2 | 1.0 | 2 | | | | エピジェネティクス分野における実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 | 授業は研究室で行う。 2021/05/17開講中止決定 英語で授業。 2023年度開講せず。 |
| 02AM054 | エピジェネティクス講究III | 2 | 1.0 | 3 | | | | エピジェネティクス分野における実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 | 授業は研究室で行う。 2021/05/17開講中止決定 英語で授業。 2023年度開講せず。 |
| 02AM037 | 植物環境応答学講究I | 1 | 1.0 | 1 | | | | 植物環境応答学分野における実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 | 2021/05/17開講中止決定 2023年度開講せず。 連携学生に限る |
| 02AM038 | 植物環境応答学講究II | 1 | 1.0 | 2 | | | | 植物環境応答学分野における実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 | 2021/05/17開講中止決定 2023年度開講せず。 連携学生に限る |
| 02AM039 | 植物環境応答学講究III | 1 | 1.0 | 3 | | | | 植物環境応答学分野における実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 | 2021/05/17開講中止決定 2023年度開講せず。 連携学生に限る |
| 02AM055 | 国際食料生産開発学講究I | 2 | 1.0 | 1 | | | | 国際食料生産開発学分野における実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 | 授業は研究室で行う。 2021/05/17開講中止決定 2023年度開講せず。 連携学生に限る |
| 02AM056 | 国際食料生産開発学講究II | 2 | 1.0 | 2 | | | | 国際食料生産開発学分野における実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 | 授業は研究室で行う。 2021/05/17開講中止決定 2023年度開講せず。 連携学生に限る |
| 02AM057 | 国際食料生産開発学講究III | 2 | 1.0 | 3 | | | | 国際食料生産開発学分野における実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 | 授業は研究室で行う。 2021/05/17開講中止決定 2023年度開講せず。 連携学生に限る |

生物圏環境学領域

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|--------------|------|-----|--------|------|-----|----|------|--|---------------------------------|
| 02AM101 | 植物寄生菌学講究I | 2 | 1.0 | 1 | | | | | 植物寄生菌学分野における実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 | 2021/05/17開講中止決定 2023年度開講せず。 |
| 02AM102 | 植物寄生菌学講究II | 2 | 1.0 | 2 | | | | | 植物寄生菌学分野における実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 | 2021/05/17開講中止決定 2023年度開講せず。 |
| 02AM103 | 植物寄生菌学講究III | 2 | 1.0 | 3 | | | | | 植物寄生菌学分野における実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 | 2023年度開講せず。 |
| 02AM104 | 応用動物昆虫学講究I | 2 | 1.0 | 1 | | | | | 応用動物昆虫学分野における実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 | 2021/05/17開講中止決定 2023年度開講せず。 |
| 02AM105 | 応用動物昆虫学講究II | 2 | 1.0 | 2 | | | | | 応用動物昆虫学分野における実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 | 2021/05/17開講中止決定 2023年度開講せず。 |
| 02AM106 | 応用動物昆虫学講究III | 2 | 1.0 | 3 | | | | | 応用動物昆虫学分野における実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 | 2023年度開講せず。 |
| 02AM113 | 土壤環境化学講究I | 2 | 1.0 | 1 | | | | | 土壤環境化学分野における実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 | 2021/05/17開講中止決定 2023年度開講せず。 |
| 02AM114 | 土壤環境化学講究II | 2 | 1.0 | 2 | | | | | 土壤環境化学分野における実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 | 2023年度開講せず。 |
| 02AM115 | 土壤環境化学講究III | 2 | 1.0 | 3 | | | | | 土壤環境化学分野における実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 | 2023年度開講せず。 |

| | | | | | | | | | |
|---------|-----------------|---|-----|---|----|----|------|---|--|
| 02AM116 | 植物環境生化学講究I | 2 | 1.0 | 1 | | | | 植物環境生化学分野における実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 | 2021/05/17開講中止決定 2023年度開講せず。 |
| 02AM117 | 植物環境生化学講究II | 2 | 1.0 | 2 | | | | 植物環境生化学分野における実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 | 2021/05/17開講中止決定 2023年度開講せず。 |
| 02AM118 | 植物環境生化学講究III | 2 | 1.0 | 3 | | | | 植物環境生化学分野における実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 | 2021/05/17開講中止決定 2023年度開講せず。 |
| 02AM128 | 森林生態環境学講究I | 2 | 1.0 | 1 | | | | 森林生態環境学分野における実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 | 受講は、森林生態環境学講座のものに限る。 2021/05/17開講中止決定 2023年度開講せず。 |
| 02AM129 | 森林生態環境学講究II | 2 | 1.0 | 2 | | | | 森林生態環境学分野における実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 | 受講は、森林生態環境学講座のものに限る。 2021/05/17開講中止決定 2023年度開講せず。 |
| 02AM130 | 森林生態環境学講究III | 2 | 1.0 | 3 | | | | 森林生態環境学分野における実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 | 受講は、森林生態環境学講座のものに限る。 2021/05/17開講中止決定 2023年度開講せず。 |
| 02AM131 | 地域資源保全学講究I | 2 | 1.0 | 1 | | | | 地域資源保全学分野における実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 | 2021/05/17開講中止決定 2023年度開講せず。 |
| 02AM132 | 地域資源保全学講究II | 2 | 1.0 | 2 | | | | 地域資源保全学分野における実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 | 2021/05/17開講中止決定 2023年度開講せず。 |
| 02AM133 | 地域資源保全学講究III | 2 | 1.0 | 3 | | | | 地域資源保全学分野における実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 | 2023年度開講せず。 |
| 02AM058 | 植生・気候変動影響学講究I | 2 | 1.0 | 1 | | | | 植生・気候変動影響学分野における実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 | 授業は研究室で行う。 2021/05/17開講中止決定 2023年度開講せず。 連携学生に限る |
| 02AM059 | 植生・気候変動影響学講究II | 2 | 1.0 | 2 | | | | 植生・気候変動影響学分野における実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 | 授業は研究室で行う。 2021/05/17開講中止決定 2023年度開講せず。 連携学生に限る |
| 02AM060 | 植生・気候変動影響学講究III | 2 | 1.0 | 3 | | | | 植生・気候変動影響学分野における実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 | 授業は研究室で行う。 2021/05/17開講中止決定 2023年度開講せず。 連携学生に限る |
| 02AM020 | 熱帯林業科学講究I | 2 | 1.0 | 1 | | | | 熱帯林業科学分野における実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う | 2021/05/17開講中止決定 2023年度開講せず。 連携学生に限る |
| 02AM021 | 熱帯林業科学講究II | 2 | 1.0 | 2 | 通年 | 応談 | 谷 尚樹 | 熱帯林業科学分野における実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う | 2021/05/17開講中止決定 連携学生に限る |
| 02AM022 | 熱帯林業科学講究III | 2 | 1.0 | 3 | | | | 熱帯林業科学分野における実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う | 2021/05/17開講中止決定 2023年度開講せず。 連携学生に限る |

共通科目

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|------|-----|------|-----|--------|------|-----|----|------|------|----|
|------|-----|------|-----|--------|------|-----|----|------|------|----|

| | | | | | | | | | |
|---------|--------------------------|---|-----|-------|--|--|--|---|---------------------------------|
| 02AM403 | Communication Techniques | 1 | 1.0 | 1 - 3 | | | | A myriad of techniques can be used to communicate effectively. In this course, students will be able to integrate communication techniques in two types of presentations (impromptu speech and pechakucha) based on given templates. Students will both evaluate and practice presentations thereby developing presentation skills and identifying their personal strengths in communication. | 2021/05/17開講中止決定 2023年度開講せず。 |
|---------|--------------------------|---|-----|-------|--|--|--|---|---------------------------------|

グローバル・フード・セキュリティ協働プログラム

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|----------------------------|------|-----|--------|------|------|----|-------------------------|--|---|
| 02AM401 | グローバル・フード・セキュリティーディベート演習 | 1 | 2.0 | 1 | 秋ABC | 木7,8 | | グローバルフードセキュリティ協働プログラム委員 | プログラム参加の学生が共通の理解を醸成し、個々の研究課題との位置づけを認識することを目的とする。要所で個別の講義も盛り込む。食料保障は世界レベルで相互依存となっていることの理解を深め、世界的フードセキュリティと持続性における国連のSDGs (Sustainable Development Goals)達成に関連づけ世界規模課題について、多様な方向性と施策を議論する。特に、対処課題として激変する環境変動や水資源や土地等の生産資源の持続性について認知し、諸国で重要度の高い農業機械の利用、産物の保蔵加工、農業生産の総合管理(特にIPM, integrated pest management)及び育種について、学生個々の深い研究課題と関連づけつつプログラム参加学生が幅広い知見の理解を醸成させる。 | 02AL401, 02AN401, 02AP004と同一。 英語で授業。 |
| 02AM402 | グローバル・フード・セキュリティーアイナーナンシップ | 3 | 1.0 | 1・2 | 通年 | 応談 | | グローバルフードセキュリティ協働プログラム委員 | グローバル・フード・セキュリティーディベート演習による基盤理解ののち、学生が個別に農業開発について調査課題を起案設定し、筑波大学協定校や海外事務所の支援に基づき、課題調査(海外での調査を勧奨)を行い、報告会にて報告を行う。 | 02AL402, 02AN402, 02AP005と同一。 英語で授業。 |

食料保障と天然資源管理に貢献するトランスワールド実務人材養成プログラム

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|------------------------------|------|-----|--------|------|------|--------|-------------|---|--|
| 02AM404 | グローバル・ヒューマン・セキュリティーディベート演習 | 2 | 2.0 | 1 | 秋ABC | 木7,8 | 生農G501 | TPHRD運営委員教員 | プログラム参加の学生が共通の理解を醸成し、個々の研究課題との位置付けを認識することを目的とする。食料保障が世界レベルで相互依存となっていることへの理解を深め、世界的フードセキュリティと天然資源持続性について国連のSDGs (Sustainable Development Goals)達成に関連付け、多様な方向性と施策を世界規模で議論する。特に、対処課題として激変する環境変動や水資源や土地等の生産資源の持続性について認知し、諸国で重要度の高い農業機械の利用、産物の保蔵加工、農業生産の総合管理(特にIPM, integrated pest management)及び育種について、プログラム参加学生個々の研究課題と深く関連づけつつ幅広い知見の理解を醸成させる。 | 02AL403, 02AN403, 02AP006, 0BNM901と同一。 英語で授業。 対面 Face-to-face meetings in principle, but may be done online depending on circumstances. |
| 02AM405 | グローバル・ヒューマン・セキュリティーアイナーナンシップ | 3 | 1.0 | 1 | 通年 | 応談 | | TPHRD運営委員教員 | グローバル・ヒューマン・セキュリティーディベート演習を通して得た理解を基盤として、トランスワールド実務人材養成プログラムの主題である食料保障と天然資源管理への貢献について、個々の学生が調査課題を起案設定し、課題調査を行い、報告会にて報告を行う。特に、筑波大学協定校や海外事務所の支援に基づき、海外での調査を勧奨する。調査のための旅費等は、大学の海外派遣資金による支援を行う。 (通年1年春学期ABC-2年秋学期ABC):10月入学のため | グローバル・ヒューマン・セキュリティーディベート演習の単位取得後、履修すること。 02AL404, 02AN404, 02AP007, 0BNM902と同一。 英語で授業。 オンライン(同時双方型) |